

# はまでら4つのや図書館

## 2024.9月の新着本より



### ぎゅうぎゅうリレー しまだ ともみ

さいしょは、くまちゃん。とことこはしります。見えてきたのは、おしり。……それは、かばちゃん！ぎゅうーうっとしたら、バトンタッチです！こんどは、かばちゃんが、はしって……。つぎつぎ見えてくる、おともだち。ちよっぴりチクチクするハリネズミちゃんも、ぎゅうーとしますよ。そして、最後は……？



### きゅうしょく たべにきました シゲリ カツヒコ

ピュウ〜ッ！  
「あーっ!!」  
つよい かせが ふいて、きゅうしょくのこんだてひょうが とばされてしまいました。うけとったのは くもの うえで くらす こおにたち。「シチュー……。よだれが でそうな なまえだ」「よし！」  
こおにたちは、きゅうしょくを たべに しょうがっこうへいくことにしました。  
みんなの きゅうしょくが だいピンチ！  
こおにたちから きゅうしょくを とりもどせるの!?  
子どもたちの勇気とアイデアに胸がアツくなるユーモア絵本！

### おいら、すてネコ『たまご』です 山口 理/こがしわかおり



おいらをすてたのは、人間。  
おいらを拾ったのも、人間。  
幸せに暮らしていても、不安になる。  
この人たちは本当に、おいらをすてたりしないかな——？  
新しい家族となった今村家の人たちが、心配しておいらを探してくれますように。  
そう願いながら、すてネコ『たまご』は家を出た……。

### 泣いちゃうわたしと 泣けないあの子 倉橋耀子



なにかというときに涙が出てきてしまう中1のメイは、明るく積極的なリンと同じ園芸委員になり、憂鬱な気分。  
ところが、同じアイドルグループを推していることがわかって、正反対な二人は急接近。  
初めてのホールライブに一緒に行くことになったけれど……。  
——なぜ、すぐに泣いてしまうんだろう？  
——なぜ、涙が出ないんだろう？  
友情とすれ違いを通して、メイとリンそれぞれが、自分のほんとうの気持ちを見つけていきます。



### ぼくのおうち わたしのおうち たけうち ちひろ

個性あふれる楽しいおうちを色彩ゆたかな切り絵で描く！  
切り絵作家たけうちちひろが描くおうち絵本。  
日曜日、ぼくは、お友だちのおうちへ遊びにいけます。「みんなどんなおうちにすんでいるのかな？」ぼくとお友だちが、お友だちの家を訪ねてすすんでいく物語。  
「どんなおうちだろう？」とページを開くたびに、出てくるおうちに夢がふくらみます。  
猫いっぱいのおうち、車のおうち、中がめいろになっているおうちなど、ページを開いて見て、いろいろな楽しみ方ができる絵本です。

### 消えた校長先生 西村友里/大庭賢哉

楽しみにしていた野外学習だけど、ぼくは“ある不安”をかかえていた。  
妙法寺のおしょうさんと校長先生から木札のお守りをもらうはずだったのに、校長先生が何度も消えちゃって会えない。  
校長先生がいなくなるのは、なぜ？  
そこにはヘビの伝説が関係していて……。



### カーニバルに消えたダイヤを追え ニル・パトリック・ハリス/じろ/松山美保

早くに両親を亡くした少年カーターは、手品を得意とする詐欺師のスライおじさんに引き取られ、天性の奇術の才能を開花させながらも、孤独な日々を過ごしていた。おじさんとのすさんだ暮らしに耐えかねたカーターはある日、意を決して脱走。飛び乗った汽車が着いたのは、ミネラルウェルズという移動遊園地（カーニバル）がやってきている町だった。行くあてのないカーターはそこで、不思議な魅力を持つマジシャンの紳士、ヴァーノン氏と出会う。  
……カーニバル全体にはきな臭さが漂っていて、カーターはインチキを次々と見破って、ボスのボツソに目をつけられてしまう。そして、ボツソのダイヤモンド強奪計画を知ったカーターらは、得意のマジックを武器に力を合わせて大泥棒のカーニバル団に立ち向かう！

※版元ドットコム、Amazonより引用しています

### 【ご寄贈】新刊算法起と行基信仰 土肥 俊夫

「新刊算法起」を読み始めてもう6年になりますでしょうか。「新刊算法起」は、承応元年(1652)に発行された和算書です。筆者は堺の大小路口に在住する田原嘉明です。  
—(中略)—あらためてじっくりこの書を読み出して、田原嘉明の行基に対する思いが、この書を作成するためにかなり深く影響していたのではないかと思うようになりました。  
そこで、この「新刊算法起」から見えてくる行基への思い(行基信仰)を、この書からしっかりと読み取りたいと思い、まとめた次第です。  
(はじめにより抜粋)

### たまごの旅人 近藤 史恵

念願かなって海外旅行の添乗員になった遥。風光明媚なアイスランド、スロベニア、食べ物がおいしいパリ、北京……異国の地でツアー参加客の特別な瞬間に寄り添い、ひとり奮闘しながら旅を続ける。そんな仕事の醍醐味を知り始めたころ、思わぬ事態が訪れて——。  
ままならない人生の転機や旅立ちを誠実な筆致で描く、ウェルメイドな連作短編集。

### キッチン常夜灯 真夜中のクロックムッシュ 長月 天音

夜から次の日の朝まで開いているビストロ「キッチン常夜灯」。同期の南雲みもぎに連れられて、34歳のつぐみは初めて店に足を踏み入れて以来、「今日は常夜灯に行く」ことを、仕事のモチベーションにしている。つぐみは、みもぎが店長を務めるチェーン系レストランを経営する株式会社オオイヌ・本社営業部に所属している。「女性活躍」の目標のもと、女性が店長になった代わりに、ベテランの男性社員が本社勤務になった。そんな彼らに気を遣いながら、日々仕事に忙殺されているが、直接お客さんと接するわけではなく、やりがいを見出すことが難しい。結婚を意識する彼氏とも、最近ぎくしゃくしは始めている。仕事で疲弊する分、オフを充実させようとするものの、充実が何なのか自分でもよく分からず、毎日不満とストレスだけが蓄積されていく。そんなある日、秋のデザートメニュー開発を頼まれてしまい……。

### 赤と青のガウン オックスフォード留学記 彬子女王

女性皇族として初めて海外で博士号を取得された彬子女王殿下による英国留学記。待望の文庫化！

«赤と青のガウン。それは、私が博士課程を始めたときからいつか着る日を夢みてきたものだ。五年間の留学生活中、何人もの友人が博士課程を無事修了し、オックスフォードを旅立っていく様子を何度も見送ってきた。晴れ晴れとした表情でこのガウンを身にまとい、学位授与式が行われるシェルドニアン・シアターから出てくる友人たちの姿は、誇らしくもあり、またうらやましくもあった。オックスフォード大学の厳しい博士課程を成し遂げた者しか袖を通すことを許されない赤と青のガウンは、くじけそうになったときにふと頭に浮かび、オックスフォードに来たときの自分に立ち返らせてくれる「目標」だった。» (「あとがき」より抜粋)  
英国のオックスフォード大学マートン・コレッジでの、2001年9月から1年間、そして2004年9月から5年間の留学生活の日々——。当時の心情が瑞々しい筆致で綴られた本作品に、新たに「文庫版へのあとがき」を収録。

### 生かさず、殺さず 久坂部羊

息もつかせぬストーリー展開で、認知症専門病棟の医師と看護師、家族の壮絶で笑うに笑えない本音を、現役の医師が描いた医療サスペンスの傑作。認知症の患者も、がんや糖尿病などさまざまな病気を患う。彼らをどのように治療すべきか。一般の患者なら、検査や治療に協力も得られるが、認知症の患者はスムーズにはいかない。治療が認知症患者に必要な以上の苦痛をもたらすとき、いったい医師は、どのような治療を選択すればよいのか。そこにある葛藤と逡巡。在宅医療を知る医師でもある著者の「認知症小説」の決定版。

### 万葉と沙羅 中江 有里

実は、まわり道が一番近いのだ。

傑作青春小説がついに文庫化！

中学で友人関係に苦しみ不登校だった沙羅が選んだのは通信制高校。  
そこで再会した幼なじみの万葉は、古本屋でアルバイトする青年。  
「本という宝を探すにはコツがいる」と彼に教えられるうちに、沙羅も読書の奥深さに目覚めていって——。

新美南吉、宮沢賢治、松本清張、マリー・ホール・エッツ……小説や絵本など、実際の著名な25冊の本が登場！大切な人と本でつながる瑞々しい青春小説。